

1. 発行者の略称(出版社名)
2 東書 1 5 三省堂 1 7 教出 3 8 光村
2. 調査研究の経過
7 月 1 日 第 1 回竹田地区教科用図書選定委員会 7 月 2 3 日 第 2 回竹田地区教科用図書選定委員会
3. 調査研究の観点
<p>【全教科(種目)共通観点】</p> <p>1. 単元・題材の構成及び内容の取扱い</p> <p>(1) 学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材を、どのように構成して、単元や題材が設定されているか。</p> <p>(2) 単元・題材設定に関しては、学年の段階や生徒の発達の段階・経験に照らして、どのように示されているか。</p> <p>(3) 基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得を図るとともに、これらを活用して課題を解決する中で思考力、判断力、表現力等をはぐくむ学習が促されるよう、どのように示されているか。</p> <p>2. 文章表現、資料等</p> <p>(1) 文字、行間、鮮明度、文章表現等は、どのように示されているか。</p> <p>(2) 資料・手引き等が有効に使われ、生徒の自主的、自発的な学習が促されるよう、どのように示されているか。</p> <p>3. 挿絵・図表及び紙質・造本</p> <p>(1) 挿絵・図表・統計等が、どのように示されているか。</p> <p>(2) 紙質・造本については、どのように示されているか。</p> <p>【各教科(種目)独自観点】</p> <p>○学習指導要領に示された目標に基づいた各教科(種目)独自の観点を設定する。</p> <p>(1) 楷書の基本と仮名の書き方</p> <p>①「字形」「文字の大きさ」「配列」など、文字を正しく整えて書く楷書の基本とそれに調和した仮名の書き方について、どのように示されているか。</p> <p>※各社とも・文字の中心を示す▽印、字形の囲み線(□や△)が示されている。 ※東書…運筆や筆圧が「とん・すう・ぐっ・びたっ」で示されている。 ※三省堂、教出…運筆や筆圧がイラストで示されている。 ※光村…運筆が「トン・スー・トン」、筆圧が写真で示されている。</p> <p>(2) 行書の基本と仮名の書き方</p> <p>①「連続、省略」「形や方向の変化」「筆順の変化」など、文字を正しく整えて速く書く行書の基本とそれに調和した仮名の書き方について、どのように示されているか。</p> <p>※東書…「インタビューのメモ」や「試験申し込み書」、「手紙」を書く活動が示されている。 ※三省堂…「テストの解答欄」や「伝言の簡条書きメモ」、「お礼状」を書く活動が示されている。 ※教出…「学級活動」や「学習発表会」、「手紙を書く」場面について話し合う活動が示されている。 ※光村…「インタビューのメモ」や「ポスター」、「入学願書」を書く場面について話し合う活動が示されている。</p>
4. 選定委員会(専門研究員の調査・研究)についての意見、感想ほか

教科用図書 種目(書写) 教科書会社No(2)

発行者の番号・略称	番号	2			略称	東書									
使用学年	1 学年	2 学年	3 学年	4 学年	5 学年	6 学年									
教科書番号	702	702	702												
項目	所見														
教科 共通	1. 単元題材の 選定及び 組織・構成	<ul style="list-style-type: none"> ○単元の配列 第1学年「はじめに」→「楷書」→「行書」 第2学年「行書」→「楷書と行書の使い分け」 第3学年「身の回りの文字」 ・「古文」や「小説」を用いた硬筆の練習ページが設定されている。 ○各単元における学習過程の示し方 ・「学習の進め方」として、巻頭に示されている。 「目標→見つけよう→確かめよう→生かそう→振り返ろう→生活に広げよう」 ○各単元で習得した知識及び技能を生かせる学習活動の設定 ・「手紙」や「年賀状」、「本のポップ」などの題材が示されている。 ・他教科等の自分のノートを見直す活動が示されている。 ○言語文化に関わる内容の示し方 ・コラムの中に、「文字の移り変わり」や「書き初め」、「いろは歌」が示されている。 													
	2. 文章表現、 資料	<ul style="list-style-type: none"> ○二次元コードからアクセス可能なコンテンツ数及びその具体 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">コンテンツ数</th> <th style="width: 5%;">種別</th> <th style="width: 80%;">主な内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">71</td> <td style="text-align: center;">資料</td> <td>・国語の教科書の関連するページ</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">動画</td> <td>・運筆の仕方 ・各学年の書写テスト</td> </tr> </tbody> </table>						コンテンツ数	種別	主な内容	71	資料	・国語の教科書の関連するページ	動画	・運筆の仕方 ・各学年の書写テスト
	コンテンツ数	種別	主な内容												
	71	資料	・国語の教科書の関連するページ												
動画		・運筆の仕方 ・各学年の書写テスト													
3. 挿絵・図表	<ul style="list-style-type: none"> ○文字指導における工夫 ・条幅サイズの手本（各学年1）が示されている。 ・巻末に「書写活用ブック」が示されている。 														
4. 紙質・造本	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の負担を配慮し、軽量の紙を使用している。 ・再生紙・植物油インキを使用している。 														
教科 独自	5.	<ul style="list-style-type: none"> 【楷書の基本と仮名の書き方】 ・文字の中心を示す▽印、字形の囲み線（□や△）が示されている。 ・運筆や筆圧が「とん・すう・ぐっ・ぴたっ・すっ」で示されている。 【行書の基本と仮名の書き方】 ・行書の特徴の分類は次のとおりである。 「点画の丸み」、「点画の連続」、「点画の変化」、「点画の省略」、「筆順の変化」 ・「インタビューのメモをとる」「試験の申込書を書く」「年賀状を書く」活動が示されている。 													
	6. その他(地域の特殊性についての配慮)	<ul style="list-style-type: none"> ・都道府県の名前を行書で書く活動が示されている。 													
	7. まとめ (特色及び総合所見)	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の進め方が6つのステップで示されており、見通しをもって主体的に学習に取り組むことができる。 ・巻末に「書写活用ブック」があり、日常的に使えるように工夫されている。 													

教科用図書 種目(書写) 教科書会社 No(15)

発行者の番号・略称		番号	15	略称	三省堂										
使用学年		1 学年	2 学年	3 学年	4 学年	5 学年	6 学年								
教科書番号		702	702	702											
項 目		所 見													
教 科 共 通	1. 単元題材の選 定及び 組織・構成	<p>○単元の配列 第 1 学年 「楷書」⇒「楷書と仮名」⇒「行書」 第 2 学年 「行書」⇒「行書と仮名」⇒「楷書と行書」 第 3 学年 「文字文化の豊かさ」 ・「古文」や「小説」、「都道府県名」を用いた硬筆の練習ページが設定されている。 ○各単元における学習過程の示し方 ・主体的に学べるよう「教材名」「目標」「振り返り」に学習のねらいを明示している。 ○各単元で習得した知識及び技能を生かせる学習活動の設定 ・各教材冒頭に「書き方を学ぼう」を設け、学習のポイントを明確に提示している。 ○言語文化に関わる内容の示し方 ・文字の役割や、手書きすることの意義を認識できるよう「活字と手書き文字・筆順」や「文字の変遷」「書の古典」などを取り上げている。</p>													
	2. 文章表現、資料	<p>○二次元コードからアクセス可能なコンテンツ数及びその具体。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>コンテンツ数</th> <th>種別</th> <th>主な内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">31</td> <td>資料</td> <td>・教科書の補充教材・参考資料</td> </tr> <tr> <td>動画</td> <td>・運筆の仕方・楷書と行書の筆順の比較</td> </tr> </tbody> </table>						コンテンツ数	種別	主な内容	31	資料	・教科書の補充教材・参考資料	動画	・運筆の仕方・楷書と行書の筆順の比較
	コンテンツ数	種別	主な内容												
	31	資料	・教科書の補充教材・参考資料												
		動画	・運筆の仕方・楷書と行書の筆順の比較												
3. 挿絵・図表	<p>○文字指導における工夫 ・半紙サイズの手本（楷書 1）条幅サイズの手本（各学年 1）が示されている。 ・巻末に「二次元コード一覧表」が示されている。</p>														
4. 紙質・造本	<p>・用紙は硬筆で書く、消すといった使用に対応できる髪質のものを採用している。 ・表紙はビニール加工を施し、炭を使っても汚れにくいよう配慮している。</p>														
5.	<p>【楷書の基本と仮名の書き方】 ・文字の中心を示す▽印が示されている。 ・運筆や筆圧がイラストで示されている。 【行書の基本と仮名の書き方】 ・行書の特徴の分類は次のとおりである。 「点画の丸み」「点画の連続」「点画の形や方向の変化」「点画の省略」「筆順の変化」 ・「グループ新聞を作ろう」や「情報誌を作ろう」や「名言集を作ろう」を書く活動が示されている。</p>														
6. その他(地域の特殊性 についての配慮)	<p>・四十七都道府県名は行書で書く活動が示されている。</p>														
7. まとめ (特色及び総合所見)	<p>・学習の見通しをもちやすいよう、教科書冒頭で「学習の流れ」について解説している。 ・宛名や伝票の書き方など、生活に必要な書式を提示している。</p>														

教科用図書 種目(書写) 教科書会社 No(17)

発行者の番号・略称		番号	17			略称	教出								
使用学年		1 学年	2 学年	3 学年	4 学年	5 学年	6 学年								
教科書番号		702	702	702											
項 目		所 見													
教 科 共 通	1. 単元題材の 選定及び 組織・構成	<p>○単元の配列。 第 1 学年「楷書」→「楷書と仮名」→「行書」 第 2 学年「行書」→「行書と仮名」→「学習活動や日常生活」 第 3 学年「行書と仮名」→「身の回りの多様な表現」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「古文」や「熟語」、「小説」を用いた硬筆の練習ページが設定されている。 <p>○各単元における学習過程の示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学習の進め方」として、巻頭に示されている。「目標→考えよう→生かそう→振り返ろう→学習や日常生活に生かそう」 <p>○各単元で習得した知識及び技能を生かせる学習活動の設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「植物の観察レポート」や「学校生活」などの題材が示されている。 ・場面に応じた書き方について話し合う活動が示されている。 <p>○言語文化に関わる内容の示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コラムの中に、「あの人が残した文字」や「日本建築と書」、「『書くこと』の変遷」が示されている。 													
	2. 文章表現、 資料	<p>○二次元コードからアクセス可能なコンテンツ数及びその具体。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>コンテンツ数</th> <th>種別</th> <th>主な内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">97</td> <td>資料</td> <td>・関連サイトの紹介（まなびリンク）</td> </tr> <tr> <td>動画</td> <td>・運筆の仕方・左利き用の書き方</td> </tr> </tbody> </table>						コンテンツ数	種別	主な内容	97	資料	・関連サイトの紹介（まなびリンク）	動画	・運筆の仕方・左利き用の書き方
	コンテンツ数	種別	主な内容												
	97	資料	・関連サイトの紹介（まなびリンク）												
動画		・運筆の仕方・左利き用の書き方													
3. 挿絵・図表	<p>○文字指導における工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・半紙サイズの手本（楷書 1）、条幅サイズの手本（各学年 1）が示されている。 ・巻末に「書式の教室」が示されている。 														
4. 紙質・造本	<ul style="list-style-type: none"> ・環境への配慮から、再生紙・植物油インキを用いている。 ・製本は、針金を三か所に施した中綴じで長期の使用に耐えるよう配慮している。 														
教 科 独 自	5.	<p>【楷書の基本と仮名の書き方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文字の中心を示す▽印、字形の囲み線（□や△）が示されている。 ・運筆がイラスト、筆圧が写真で示されている。 <p>【行書の基本と仮名の書き方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行書の特徴の分類は次のとおりである。「連続」、「変化」、「省略」、「筆順の変化」 ・「学級活動」や「学習発表会」、「手紙を書く」場面について話し合う活動が示されている。 													
6. その他 <small>（地域の特長性についての配慮）</small>		<ul style="list-style-type: none"> ・全国の城跡が写真で示され、さまざまな地域の文字を紹介している。 													
7. まとめ <small>（特色及び総合所見）</small>		<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭で学習の進め方が示されており、見通しをもち、主体的に学習に取り組むことができる。 ・各学年に学習を生かして書く活動が設定されている。 													

教科用図書 種目(書写) 教科書会社 No(38)

発行者の番号・略称		番号	38			略称	光村								
使用学年		1 学年	2 学年	3 学年	4 学年	5 学年	6 学年								
教科書番号		702	702	702											
項 目		所 見													
教 科 共 通	1. 単元題材の 選定及び 組織・構成	<p>○単元の配列 第1 学年 「楷書」 → 「行書」 第2 学年 「行書」 → 「文字の使い分け」 第3 学年 「文字の使い分け」 → 「三年間のまとめ」 ・「短歌」や「俳句」、「詩」、「古文」を用いた硬筆の練習ページが設定されている。 ○各単元における学習過程の示し方 ・「学習の進め方」として、「考えよう→確かめよう→生かそう→振り返ろう」のように巻頭に示されている。 ○各単元で習得した知識及び技能を生かせる学習活動の設定 ・「防災フェスタ」の看板や掲示物制作などの題材が示されている。 ・手書き文字のよさについて話し合う活動が示されている。 ○言語文化に関わる内容の示し方 ・コラムの中に「文字の歴史を探る」や「全国フォント見つけ隊」、「ユニバーサルデザインフォント」が示されている。</p>													
	2. 文章表現、資料	<p>○二次元コードからアクセス可能なコンテンツ数及びその具体</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>コンテンツ数</th> <th>種 別</th> <th>主 な 内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">4 6 3</td> <td>資料</td> <td>・教科書の補充教材</td> </tr> <tr> <td>動画</td> <td>・運動の仕方 ・左利き用の書き方</td> </tr> </tbody> </table>						コンテンツ数	種 別	主 な 内 容	4 6 3	資料	・教科書の補充教材	動画	・運動の仕方 ・左利き用の書き方
	コンテンツ数	種 別	主 な 内 容												
	4 6 3	資料	・教科書の補充教材												
動画		・運動の仕方 ・左利き用の書き方													
3. 挿絵・図表	<p>○文字指導における工夫 ・半紙サイズの手本（楷書1、行書4）、条幅サイズの手本（各学年1）が示されている。 ・巻末に「日常に役立つ書式」が示されている。</p>														
4. 紙質・造本	<p>・環境への配慮から、再生紙・植物油インキを用いている。 ・製本は、針金を三か所に施した中綴じで、長期の使用に耐えるよう配慮している。</p>														
教 科 独 自	5.	<p>【楷書の基本と仮名の書き方】 ・文字の中心を示す▽印、字形の囲み線（□や△）が示されている。 ・運筆が「トン・スー・トン」、筆圧が写真で示されている。</p> <p>【行書の基本と仮名の書き方】 ・行書の特徴の分類は次のとおりである。 「筆使い」「点画の変化」「点画の連続」「点画の省略」「筆順の変化」 ・インタビューのメモや「ポスター」、「入学願書」を書く場面について話し合う活動が示されている。</p>													
6. その他(地域の特殊性 についての配慮)		<p>・「全国フォント見つけ隊」「全国文字マップ」「全国書き初め調べ隊」など、全国のさまざまな地域の文字を紹介している。</p>													
7. まとめ (特色及び総合所見)		<p>・全教材に、学習の進め方を3ステップで示している。見通しをもつことで、主体的に学習に取り組むことができる。 ・中学校で初めて学習する「行書」を楽しくしっかり学べるよう、書く時のポイントを押さえた「行書スイッチ」を設定している。 ・書き初めや由来のポイントをまとめた「書き初めマスターブック」を設定している。文字文化の豊かさに触れる、多様な教材が用意されている。 ・二次元コードからアクセス可能なコンテンツ数が463と豊富である。</p>													